
第二輪 村

曇天

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

第一輪 村

【Zコード】

Z5437E

【作者名】

曇天

【あらすじ】

『人形』の『人材』を探すべく山の村屋乃へ。そこでなんやかんやのハプニング！！第二輪お楽しみを！！

第一輪 村

乍鬼粂（ながら とび以下な）

「というわけでやってきました山の村 星乃です」

突然言い出したのが編み笠を深くかぶった長身で酒瓶を持った男

乍鬼粂。（説明長いわあ）

乎佐輪仁矢野（おやわ にやの以下に）

「いやいやいや。飛びすぎだから話がぶつ飛んでるから」

センター分けで背にライフルを担いで
激しくつつ込んだのが乎佐輪仁矢野。

戸尾真笛（とおま てき以下て）

「ほへ此処が噂の星乃かあ。

思つていたより田舎じやのあ」

前髪を上げて横髪はかわいらしい髪留めでとめていて

腰に弓矢を提げた見た目と口調のギャップが激しい男が戸尾真笛。
(なげえ)

伊都式華我弥（いとしき かがび以下か）

「カツカツカスゲーーー！」

手首に黒いベルトのよつなものを巻きつけて喉を鳴らして笑う髪の長い男が伊都式華我弥。

母恵十新（おもえ とおしん以下ヒ）

「埃っぽい・・・。」

前髪が長くて背に長い槍を2本背負つて眩いた男が母恵十新。

花弁夜桜（かべん やざくら以下ヤ）

「・・・・右に同じく・・・。」

怒った様にいつた髪の色が白に近い16歳ほどの腰にポーチを提げた少年が花弁夜桜。

星山摸蘭（ほしやま ばくらん以下バ）

「わわわーーーワアリーー！」

驚いたように騒ぐ少し天然パーマがかかつていて腰に手榴弾をいくつも提げている少女が星山摸蘭。

な「よし説明しよう。

昨日の画ターゲットを虐殺すべく『人形』を使いました」

に・ば「うんうん」

な「ターゲットは『人形』によつて無事虐殺されました。しかし!」
「!..」

に・ば「しかし?」

な「なんと『人形』までもがターゲットもろとも朽ちてしまつたのです!..」

に・ば「はいはい」

な「いつもなら代わりの『人形』を使い、朽ちた方を捨てるのです
が!..」

に・ば「が?」

な「なんとーーその『人形』がラストだつたのですーー」

に・ば「はいはい」

な「てこうじとで手つ取り早く仮の『人形』を集めるために
この星乃にいるのです」

に・ば「ふうへん」

な「てかさ。こんな説明オレじゃなくて
「」どがやれよ」

乍が村のほうから視線をはずさない

日本刀を手にしている獅麗言葉（しづい　ことば以下）にいった。

」「・・・。」

しかし獅麗は聞く耳を持ちもしなかった。

な「つたぐ・・。組長さんは相変わらず無口ですね

呆れたように呟つて

て「まあまあ。こつもの」とじやくひ

と都尾真がのんきな声で言ひ。

な「まあな・・・。

つて!! 勝手に村にはいんな!!
オイお前ら!! 中にはいんぞ!!」

にぎやかな金木犀組みは

そのまま獅麗を追いかけるよう元村の中に入つていった。

二〇一〇年

な「ハア・・・・ハア・・・・ハア・・・・」

な「あのなあ」と・・・

」「・・・。」

な「この組組んで何年もたつが、いい加減団体行動しようぜ・・・。
?」

」「・・・。」

な「お前一人じゃねえんだよ。見る後ろを」

後ろを見ると息を切らした皆の衆。

な「お前一人がテケテケ歩き回ると

俺たちもその後についていかなきや行けねえんだよーーー。」

」「・・・。」

な「狭い路地ーー屋根の上ーーお前は何がしたいんだよーーー。」

「……」

な「だ……もひこ……お前には笛につけちゃう……いいな！」

「……」

な「決定……オイ笛……ひー……

オイコラB型四人組……ビー行く氣だ……」

て「アウチ」(B型)

か「あー惜しい」(B型)

と「……あと……少し……だった……」(B型)

や「……チッ」(B型)

な「団体行動を重視しろ……気ままなヤツらめ……」

て・か・と・や「B型だし」

な「うるせえ……」

に「まあまあ。落ち着けって血糖値上がるぞ」

ば「じゃあこいつしましよう。みんなで手分けして『人形』にふさわしい『人材』を持つてくる。そして最も役立つ『人材』を持ってきた人が皆から物を貰つてことで」

に「いいなそれ

な「よし。決定な

てこと今から30分後此処に集合な

て「でわ。散!!」

第二輪
村
終

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5437e/>

第二輪 村

2010年10月28日00時46分発行